



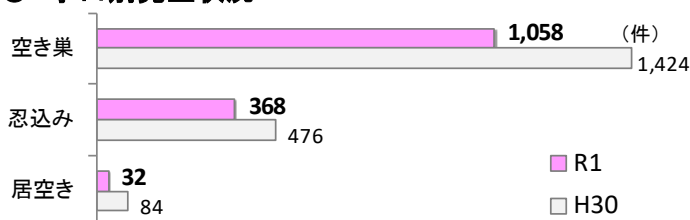
いばらき防犯ファイル No. 2

住宅侵入窃盗事件発生状況

令和元年中 1,458 件(前年比 -526 件)



● 手口別発生状況



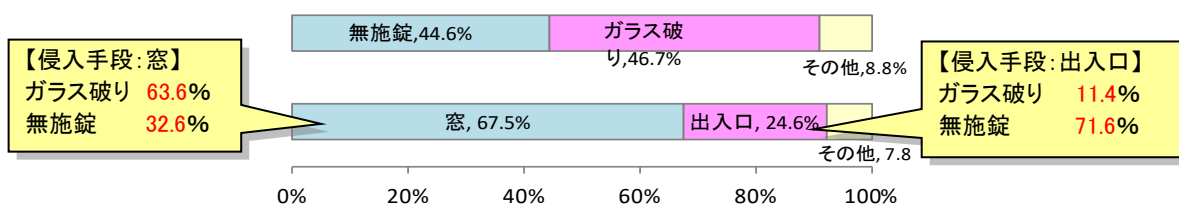
※【住宅侵入窃盗】

空き巣： 家人等が不在の住宅の屋内に侵入し金品を盗むこと
 忍込み： 夜間家人等の就寝時に住宅の屋内に侵入し、金品を盗むこと
 居空き： 家人等が在宅中に住宅の屋内に侵入し、金品を盗むこと

※ 住宅侵入窃盗の人口 10 万人当たりの認知件数（犯罪率）は、50.7 件で全国ワースト、全国平均値（22.9 件）の 2 倍以上となっています。

● 特徴

【侵入手段・箇所】



【侵入手段：窓】

ガラス破り 63.6%
 無施錠 32.6%

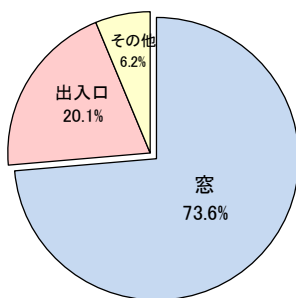
【侵入手段：出入口】

ガラス破り 11.4%
 無施錠 71.6%

◆空き巣

【侵入手段】

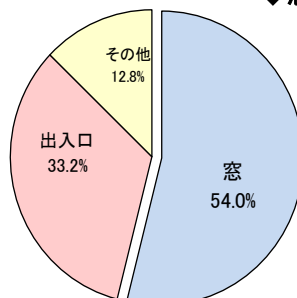
・窓
 ガラス破り 73.6%
 無施錠 23.1%
 ・出入口
 ガラス破り 16.4%
 無施錠 58.7%



◆忍込み

【侵入手段】

・窓
 ガラス破り 25.3%
 無施錠 69.2%
 ・出入口
 ガラス破り 4.9%
 無施錠 88.5%



防犯メモ

窓の約3割、出入口の約7割が無施錠の状態です。外出する際は、たとえ少しの時間でも、確実に鍵を掛けましょう。また、在宅中も鍵を掛ける習慣を付けましょう。

泥棒は、侵入に時間がかかるのを嫌がります。窓ガラスには**防犯フィルム**、サッシには**補助錠**等の対策を施しましょう。

センサーライトや防犯カメラ、警報器等の防犯装置を活用しましょう。

※防犯性能に優れた「CP マーク」表示のあるドアや窓などを取り付けることも被害の防止に効果的です。

「CP」Crime Prevention（防犯）の頭文字

